

◎ 次は**デイサービス**の職員さんのお話…

利用者様、職員とも、マスクの使用・体調管理(体温)・手の消毒・部屋の換気などに注意し、送迎車の消毒にも努めています。デイサービス利用中は椅子を離したり、向かい合って歌わないなどの工夫はしていますが、利用者様同士が楽しくお話ができるように注意して見守っています。感染が不安でデイサービスを休ませたいというご家族もありましたが、入浴ができなくなるため、説明してご理解をいただきました。職員各自は不要不急の外出を避け、家族にも同様に最小限の外出にしてもらっています。最近では少しずつ感染予防に『慣れ』が生じてきています。だからこそ、今一度感染予防を徹底するよう、職員一同気持ちを引き締めているところです。



◎ **ホームヘルパー**さんからもお話をいただきました

これまで続けてきた『ノロウィルス』や『インフルエンザ』の感染予防と同様に『新型コロナ』に対しても注意を怠らず、訪問のための感染予防をしています。

利用者様とご家族にも体温測定やマスク着用はお願いしています。

ヘルパーの仕事は、『自宅でお困りのみなさんのお手伝いをする』ことです。訪問できなくなることが一番つらいので、職員も十分注意をして生活しています。離れてお暮らしのご家族にもやむなくご協力をお願いすることもあります。今のところ大きな問題はないように思います。社会全体が新型コロナ予防に疲れ、ストレスもたまっているように思います。利用者様をはじめ、在宅介護にかかわる人々の心がすさんでしまわないように注意して、元気に訪問を続けたいと考えています。

『さくまの里』が提供するサービスは、人と人が触れ合うことで成立するといっても過言ではありません。しかし、このコロナ禍の中では触れ合うことは避け、距離をとることが基本です。そうした状況の中でも介護サービス提供事業者として、利用者様の命を第一に考え、可能な限りの感染予防対策を講じ、必要とされるサービスを途切れることなく提供いたします。いまは予防と辛抱の時期です。新しい年に希望を持って頑張りましょう。

さくまの里施設長 岩見桂浩